

2010年5月14日

2010年度の鉄軌道事業設備投資計画は総額454億円

鉄道ネットワーク拡充および安全対策に、引き続き積極的に取り組みます

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄では、2010年度に鉄軌道事業で総額454億円の設備投資を行います。

鉄道ネットワーク拡充のための大規模改良工事をはじめ、鉄道事業者の最重要の責務である安全対策およびサービス向上などに引き続き積極的に取り組んでいきます。

鉄道ネットワーク拡充として、167億円を投資します。東横線と東京メトロ副都心線との2012年度の相互直通運転開始を目指し、東横線渋谷～代官山間地下化工事や特急・通勤特急・急行列車の10両化対応工事を柱とする「東横線渋谷～横浜間改良工事」を進めていきます。

安全とサービス向上策では287億円を投資します。2010年度は東横線・池上線・東急多摩川線などで計43両を、新型車両5000系と、5000系をベースにした7000系車両に更新します。また、鉄道構造物の耐震補強工事、上野毛駅の改良工事、緑が丘駅のバリアフリー化、鷺沼駅の改札口新設工事などを進め、より安全で快適な東急線を目指していきます。

2010年度設備投資の詳細は別紙のとおりです。

以上

(別紙)

1. 鉄道ネットワーク拡充に167億円

鉄道ネットワークの拡充により利便性を向上するために、大規模改良工事を推進しています。

東横線渋谷～横浜間改良工事

東横線と東京メトロ副都心線との2012年度の相互直通運転開始に向けて、「東横線渋谷～横浜間改良工事」を進めています。相互直通運転により、横浜～渋谷～新宿～池袋が1本でつながり、鉄道ネットワークがさらに充実します。また、相互直通運転開始に合わせて、特急・通勤特急・急行列車を10両編成（現行は8両編成）で運転します。

この工事は2005年3月から「特定都市鉄道整備積立金制度」を活用して進めています。

渋谷～代官山間地下化工事

2002年に着工。2008年11月、トンネル掘削に用いる「シールドマシン（掘削機）」を明治通り下の工事現場に搬入し、2009年4月、代官山方面に向けて掘削を開始しました。シールドマシンによる掘削工事は約500mに及び、2010年1月、東横線とJR線の交差部手前に到達、完了しました。現在は、代官山寄りの掘削工事や、工事桁架設工事などを実施しています。



渋谷～代官山間のトンネル

10両編成化・速達性向上工事

10両編成に対応するため、特急・通勤特急・急行停車駅ホームの延伸工事を進めています。

中目黒駅改良工事 ……

ホームとホームの屋根を延伸します。

上りホームの混雑を緩和するため、上り線渋谷側のホームを拡幅します。

上り・下り各ホームにエスカレーターを新設します。

横浜側に改札口を新設します。

高架橋の耐震補強工事を実施します。

学芸大学駅ホーム延伸工事… ホームを延伸するとともに、耐震補強工事を行います。

自由が丘駅ホーム延伸工事・・	ホームを延伸するとともに、耐震補強工事を行います。
田園調布駅ホーム延伸工事・・	ホームの延伸工事を行います。
多摩川駅ホーム延伸工事・・・・・	ホームの延伸工事を行います。
武蔵小杉駅ホーム延伸工事・・	ホームとホームの屋根の延伸工事を行います。
日吉駅ホーム延伸工事　・・・・	ホームの延伸工事を行います。
綱島駅ホーム延伸工事　・・・・	ホームとホームの屋根の延伸工事を行います。
菊名駅ホーム延伸工事　・・・・	ホームの延伸工事を行います。
横浜駅ホーム延伸工事　・・・・	ホームの延伸工事を行います。

2. 安全とサービス向上策に287億円

「安全の確保」は鉄道事業者の最大かつ最重要の、お客さまに対する責務であり、積極的に安全対策投資を行います。また、どなたでも安心・快適にご利用いただきやすい鉄道を目指し、バリアフリー化など駅改良工事にも取り組んでいきます。

新造車両への更新

2010年度は、東横線・池上線・東急多摩川線などで計43両を、新型車両5000系と7000系（5000系をベースにした車両）へ更新します。5000系車両は、機器を多重化することにより、一部機器に故障が発生しても列車運行への影響を最小限に抑えた車両です。さらに、床面とホームとの段差を小さくするなどバリアフリー対策も施しており、従来の主力車両であった8000系に比べ使用電力を約40%削減するなど、「人と環境に優しい車両」です。

田園都市線の5000系車両では、遅延抑制と混雑感の軽減を目的として、6ドア・座席格納車両を導入し、朝ラッシュ時間帯に集中的に運行しています。



池上線・東急多摩川線で更新する7000系車両

鉄道構造物の耐震補強工事

駅、高架橋、トンネルなどで耐震補強工事を進めています。2010年度は、中目黒駅、学芸大学駅付近高架橋、池尻大橋～用賀間のトンネルなどで実施します。

上野毛駅改良工事

2006年6月に着工し、2007年12月に新駅舎を使用開始（バリアフリー化）。2010年度中の完成を目指しています。植栽を施したり自然光を取り込める窓を設置したりするなど、緑化と省エネルギーに努めた設計で、改札口は2カ所になります。

鷺沼駅改札口新設

お客様の利便性向上を目的として、鷺沼駅北側に改札口を新設します。

駅施設のバリアフリー化

全てのお客様に快適にご利用していただける鉄道を目指して、バリアフリー化工事を積極的に進めています。2010年度中に緑が丘駅をバリアフリー化する予定で、これにより東急全98駅中97駅で、バリアフリールートが確保されます。また、五反田駅では既にバリアフリールートが確保されていますが、JR山手線との乗り換え口も、2012年のバリアフリー化を目指して工事を進めています。

駐輪場の新設

元住吉駅、上野毛駅、武蔵小山駅など東急線沿線で、駐輪場の新設を進めています。

以 上